

歌うことが楽しくて！（ユーモアで笑いがいっぱい）

10周年まで あと 164日（練習回数は あと 21回）

9月20日の練習から

Salve Regina:

- ・お互いに全く聞きあえていない。入るタイミング出るタイミングにバラバラ感。解決するには指揮者をよく見ること。それには暗譜！
- ・ブレスの後、のんびりしてしまう癖があるので注意。
- ・ピアノと一緒に、音符と音符の間も歌いましょう。音量というより音色で。
- ・音楽は止まってくれません。
- ・p 13の10～19小節は4パートが違うことをやっているの、速さにずれが生じてくる。
- ・p 14、(E-ia)でSPは遅くならないように。
- ・p 15、(A-)は余裕をもってやさしく柔らかく入る。
- ・p 16、(O cle-mens)はタイミングをそろえて。(O-)には思いを込めて一なんと慈悲深い。
- ・p 17、(A-men) pで極力柔らかく。自分の体をまっすぐ地面につけて歌う感じ。最後の(A-men)は、ppでフェルマータで終わる。

Ave Maria:

- ・自分のパートだけでなく、他のパートもどう動くかを意識して。
- ・p 18の5～6小節目でspは(a-)の伸ばし方が八部音符分足りない。きちんと伸ばすこと。
- ・p 20、の(Je-sus)の(S)のタイミングがs pは速い。
- ・p 21の25～35小節は、徐々に大きく、じわじわ感をもってクレッシェンド。皆でやらないとクレッシェンドにならない。
- ・p 22、ハミングの部分は、スラーがかかっているの、2つの小節を1つのつもりで。

Tantum ergo:

- ・この曲はベタッと歌わないで、流れのある中で拍を意識して、メリハリをつけて歌う。
- ・出だしは、やさしさの中にメリハリをつけて。(優しい猫パンチ)
- ・p 26、(et-an-ti-qum～)はpで入りクレッシェンドをかけていく。(no-vo-ce-dat)でf。(ri-tu-i)でデクレッシェンドに移行。
- ・p 26 (Ge-ni-to-ri～)は、pで。縦に口をあけてまっすぐ出る。
- ・p 27の20小節は、クレッシェンドし、デクレッシェンドに移行。空気が動く感じ。
- ・p 28の26～30小節はpで入り、クレッシェンドし、fにもっていく。fを保ちながら(da-ti-o)でデクレッシェンド。次の(A-men～)はpで。34小節でp pにし、最後の(A-men)はクレッシェンドをかけ、pでおわる。(men)は後ろ見ごろで細く歌うこと。

連絡：虹のコンサートについて (10/12木曜日)

- ① 舞台上でリハーサル (AM 10:00～)
- ② 河合スタジオにてリハーサル (12:00～13:00)
- ③ 開場 (13:00～)
- ④ 歌う曲： *Salve Regina / Ave Maria / Tantum ergo*